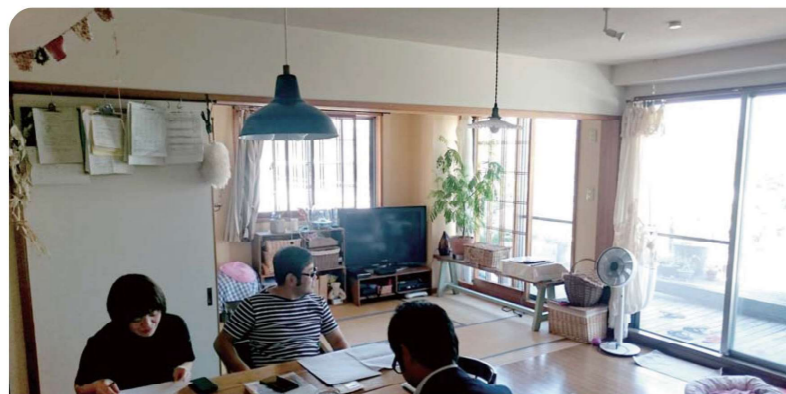


リフォーム前



△1室1室が狭い。
△キッチンが暗い。
せっかくの桜島が見えない。
△洋室に湿気がこもる。
△住宅設備の老朽化。
△お気に入りの家具・雑貨が映えない。



Before

外からの光が届きにくく、日中も暗くなりがちがキッチン。



セレクトショップを開くことが出来そうなくらいに、素敵な家具や雑貨が溢れる家。

ひとつひとつの家具を部屋から取り出して、居場所を決めていく作業からスタート。

家具の配置を固めたくて、家族の「こうしたい」を空間に取り込んでいきました。

キッチンはLDKの中央に配置して、桜島が見える明るい開放的な形に。

それぞれの部屋に点在していた収納は、大容量のWICひとつにまとめて、ドライスペースと隣合わせにすることで家事動線にも配慮。

寝室や子供部屋は必要最小限にして、家族の集まるLDKを広く明るく。

こうして、細分化されていた4LDKは、大きなリビングのある2LDKに再構成。

お気に入りの家具も家族の一員のように暮らす家となりました。

リフォーム後



図中の点線四角がお手持ちの家具類。住戸全体の床をフラットにしてバリアフリー化し、浴槽やキッチンなどの住宅設備も入れ替えてブラッシュアップ。洋室には内装窓をつけることで採光と風の通り道を確保。

降灰のある鹿児島では洗濯物を干すスペースも重要。ドライルームを大容量のWICの隣に配置。アイロンがけまで出来るようにカウンターも設置。



ルーフバルコニーから見える桜島。



打ち放しのコンクリート壁の寝室にもキャベツボックス収納。カーテンは深いブルーでアクセント。 After



キャベツボックスをアレンジした収納を各所に！



左側の窓から桜島が一望できる。広くなったLDKには桜島が見える窓が2つに増え、以前よりも桜島を近くに感じることができる。



子供室に置いていたソファを、思い切って玄関へ。隣合う子供室に3枚引き違い戸をつけることで、採光を確保。オープンな靴箱と合わせて、明るくフレキシブルな空間に。



3枚引き違い戸はガラス入り。採光と同時に家族の気配を感じられる。



息子くんの大好きな、ずっと愛用していた2段ベッドは、梁間に納まるようにリサイズ。下段のデスクまわりは小さなキッチンビットのよう。



応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	リフォーム内容
ヤマサハウス株式会社 リノベーション課 増改築・リノベ。中村智明	ヤマサハウス株式会社 リノベーション課 増改築・リノベ。	ヤマサハウス株式会社 リノベーション課 増改築・リノベ。	17年	鉄筋 コンクリート造	共同住宅	2017年10月	3ヵ月	1380万円	住宅設備の入れ替えをはじめとする 全体的な改修。